

関西医科大学附属病院では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関より提供を受けます

なお、下記研究は 関西医科大学附属病院の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 切除不能肝癌に対する全身化学療法の治療法別治療効果と最適な薬剤使用順の検討
【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：姫路赤十字病院 内科 多田俊史

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：2009年5月20日～2034年12月31日
- 2) 受診科：関西医科大学附属病院 肝臓外科
- 3) 対象疾患名：肝細胞癌と診断された方かつ全身化学療法を受けた方

（各施設で臨床研究承認が得られて以降は治療導入時に同意書取得できる患者様からは同意書を取得するようにしております）

【診療情報等の項目】

性別、年齢、身長、体重、慢性肝疾患、ECOG-PS、併存症、内服薬
臨床検査・記録：白血球数、白血球分画、T-bil、総蛋白、Alb、AST、ALT、ALP、 γ
GTP、BUN、Cr、NH₃、PT、肝予備能マーカー・栄養マーカー（ALBI スコア、Child-Pugh
スコア、PNI、NLR、GNRI など）、尿蛋白、尿中クレアチニン、腫瘍マーカー（AFP、
L3、PIVKA-II）、治療導入時の画像検査（腹部 CT や MRI、エコー）：肝癌の最大径、
個数、転移の有無、腹水の有無、肝性脳症の程度

【研究目的】

切除不能進行肝細胞癌における全身薬物療法の治療成績の検証を行い、有用性と安全性を検討します

【研究（利用）期間】 研究機関の長の承認日から 2035年12月31日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（当院の使用する情報の管理責任者）：

関西医科大学附属病院 肝臓外科

海堀 昌樹

072-804-0101